

消防部門

火事（一般建物火災）に周辺消防署が連携して 9台編成の消火隊が駆けつけます！

火事が発生すれば、大和郡山署・西和署・天理署などから9台編成の消火隊（消防ポンプ車などの消火車両5台・救助車1台・救急車1台・指揮車2台）が現場に駆けつけます。また延焼の状況によりさらに増隊します。

これまでの火災事例では・・

平成30年11月小泉町火災23台出動

（消火車両10台、救助車3台、救急車3台、指揮車3台、その他4台）

平成29年11月稗田町火災20台出動

（消火車両7台、ハシゴ車2台、救助車2台、救急車1台、指揮車4台、その他4台）

もし、単独消防のままだったら・・・

火災では、消火車両・救急車を一つの現場に集中させなければならない。その間に別の火事や救急需要が重なれば次の対応は困難になります。

※単独消防時代の消火隊編成（消火車両2台、救助車1台、救急車1台）。



スケールメリットを活かした消火体制で、 コストを抑えた消防体制を実現

防災部門

市・消防団・警察署と顔の見える 関係づくり

消防署・消防団・警察署が連携し、顔の見える関係づくりを行っています。災害時には消防署から市の災害対策本部にリエゾン（つなぎ役）が派遣されます。

消防団の消防技術訓練や技術発表会での技術指導や運営に協力しています。



問合せ＝市民安全課（内線629）